

新型コロナウイルス感染症患者（4例目）の発生について（第2報）

令和2年3月28日（土）に報告のあった新型コロナウイルス感染症患者（4例目）の行動歴及び濃厚接触者に係るPCR検査結果等は次の通りです。

1 行動、症状の経過等（下線部が追加情報）

(1) 発症後

- 3月21日（土） 倦怠感があり会社を早退し、以降の出勤なし
夜に39.0℃の発熱
- 3月22日（日） 倦怠感継続
日中は36℃代後半から37℃代後半、夜間は39.0℃の発熱
- 3月23日（月） A医療機関を受診。インフルエンザ陰性
- 3月24日（火）～3月26日（木）
日中は36℃代後半から37℃代後半、夜間は39.0℃の発熱が継続
- 3月25日（水） 食欲不振
- 3月26日（木） 咳出現
- 3月27日（金） 39.0℃の発熱。保健センターに相談の上、A医療機関を再受診
胸部CT検査の結果、入院を要する肺炎の所見があり、医師が
保健センターと協議の上、新型コロナウイルス感染症を疑い、
感染症指定医療機関への受診を誘導し入院
検体を採取
遺伝子検査の結果、新型コロナウイルス陰性と判明
- 3月28日（土） 医師が新型コロナウイルス感染症を強く疑い、再度検体を採取
遺伝子検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明
- 3月29日（日） 感染症指定医療機関の判断により、B医療機関へ転院

※公共交通機関の利用はなく、徒歩や自動車を利用していたとのこと。

(2) 発症前14日間

本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はないが、県外等への外出については、引き続き調査を実施する予定である。

2 濃厚接触者等の状況

(1) 同居家族等

同居家族2名、患者と接触のあった親族4名及びその他1名、合計7名について、濃厚接触者と判断し、衛生研究所によるPCR検査の結果、全員が陰性であることを確認した。

保健センターからは、同7名について、患者との最終接触日が異なることから、同居家族2名に対しては4月10日まで、親族4名及びその他1名に対しては4月4日まで、健康観察を実施するとともに、不要不急の外出の自粛を要請した。

(2) A医療機関

保健センターからの当該医療機関への問合せに対し、適切な感染防護を行い診療に従事させるようにしており、濃厚接触者に該当する従事者がいないとの回答があった。